



2004年(平成16年)7月20日
 発行: 鎌ヶ谷市国際交流協会
 〒273-0195 鎌ヶ谷市初富928-744
 TEL 047-445-1141 (内550)
 FAX 047-441-9400
 http://www.kifa.gr.jp

2004年度鎌ヶ谷市国際交流協会総会を開催

重要度を増すKIFAの市民レベルの活躍

5月16日(日)、午後2時から鎌ヶ谷市総合福祉保健センター6階の大会議室で、2004年度鎌ヶ谷市国際交流協会(KIFA)の総会が開催された。

小栗淑子副会長の開会の辞に次いで、岡本靖子会長が挨拶に立った。

「私はKIFAの活動に関わってまいりまして、青少年の参加が少ないということが、つねに気がかりでした。若者に興味を持って事業に参加していただく。これなくしてはKIFA活動の将来につながっていきません」

最初に、現状の問題点を指摘し、「そのような意味合いから青少年の参加を促進すべく、一昨年より『青少年



清水聖土市長



平原俊雄
市議会議員



岡本靖子会長

のロングステイプログラム』『青少年交流事業』などを、その一環としてスタートさせました」と、報告した。

そして、次の提案をした。

「2004年度の新しい取り組みといたしまして、姉妹都市ワカタネとの交換留学を推進するために、留学基金の設立を考えているところです」

続いて来賓の方々から挨拶をいただいた。

清水聖土市長は、昨年7月、ワカタネのジャパニーズガーデンの完成式典に出席した話を披露し、「来る9月にはワカタネのハイスクールの生徒たちが、鎌ヶ谷にホームステイでやってくる。国際交流において、KIFAの市民レベルでの活躍がますます重要度を増している。私も市民と一緒に頑張りたい」

平原俊雄市議会議員(KIFA顧問)からは、「鎌ヶ谷市の国際交流活動に大きな位置と実績をKIFAは形成してきた。さらなる発展を期待する」という趣旨の祝辞をいただいた。



事業報告をする岡本会長

次に、総会の議長に田澤進二郎氏を選出したあと、議事に入った。議案第1号は「2003年度事業報告について」。常設部会の広報委員会、交流部会、研修部会からの報告。通訳ボランティア活動、外国人ボランティア講師派遣、日本語ボランティア講師派遣、夏まつり実行委員会、派遣実行委員会、規約見直し検討委員会などの事業報告がされた。また「2003年度収支決算・特別会計収支決算および監査報告について」(議案第2号)も審議され、ともに承認し可決した。

交換留学推進のために「留学基金」を可決

引き続き「2004年度事業計画」(議案第3号)ならびに「2004年度収支予算案・特別会計収支予算案」(議案第4号)が審議され、これを承認し可決した。

「2004年度事業計画」の詳しい内容については、本紙3頁に紹介した。したがって前記の岡本会長提案の「留学基金」も可決されたが、その設立目的について、ここに記しておく。



岡本会長を囲んで新旧役員の方々

『鎌ヶ谷市の今後を担う青少年の国際交流に係わる理解を深めるとともに、姉妹都市ワカタネ・ディストリクトとの交流の輪を広げるため、海外留学助成事業及びワカタネ・ディストリクトからの留学生受け入れ事業を促進することを目的として、本基金を設置する』

議事は進行し、議案第5号の「規約の一部改正について」を審議した。

2004年度鎌ヶ谷市国際交流協会役員名簿

役職	氏名	所属団体
会長(理事)	岡本 靖子	市民代表
副会長(理事)	酒井 哲郎	市民代表
副会長(理事)	長南 勇	市民代表
会計(理事)	一色 雅男	鎌ヶ谷ライオンズクラブ
会計(理事)	小栗 淑子	市民代表
常設部会長		
広報委員長	林 幸治	市民代表
交流部会長	鈴木 浩	市民代表
研修部会長	波多野 勝夫	市民代表
理事	竹内 好子	鎌ヶ谷市体育協会
理事	高橋 修司	鎌ヶ谷市商工会
理事	石井 敏雄	鎌ヶ谷市スカウト連絡協議会
理事	細井 和美	鎌ヶ谷市子ども会育成会連絡協議会
理事	菅野 輝子	鎌ヶ谷市芸術文化協会
理事	野口 光行	鎌ヶ谷市自治会連合協議会
理事	小林 信基	鎌ヶ谷青年会議所
理事	渋谷 重大	鎌ヶ谷ロータリークラブ
理事	高島 和雄	千葉県立鎌ヶ谷高等学校長
理事	相澤 莊重	千葉県立鎌ヶ谷西高等学校長
理事	鈴木 武	鎌ヶ谷市小中学校長会
理事	杉山 巖	鎌ヶ谷市助役
理事	寺島 正方	鎌ヶ谷市教育委員会委員長
理事	井上 和夫	鎌ヶ谷市教育委員会教育長
理事	中台 茂	鎌ヶ谷市教育委員会生涯学習部長
監事	竹内 明	市民代表
監事	清松 植男	市民代表

事務局長(社会教育課長)

木田 安子

担当職員(社会教育課社会教育係)

小松崎 佳之

事務局員

川島 妙子

事務局員

寺坂 敬子

新副会長と新会計からの一言メッセージ

新副会長 長南 勇さん

KIFAの設立20周年を数年後にひかえ、協会の更なる発展のため、微力ではありますが前向きな姿勢で取り組んでいきたいと思っております。ボランティアとしては浅い経験しかありませんので、皆様方のお力添えをよろしくお願い申し上げます。



長南さん

新会計 小栗 淑子さん

会員が納得できるような会費の使い方とボランティアが活動しやすい環境を作ることを念頭において、会計の任務をまっとうできればと思っています。また減少方向にある会員がKIFAに戻ってきたくような新しい活動も応援できればいいなと考えています。



小栗さん

↓ KIFA総会記事続き

主に、役員、理事会、運営委員会、常設部会などに関する規約改正で、これも承認、可決した。

常設部会長はすべて新任者が担当

最後は、「役員選出について」(議案第6号)。今期は、岡本靖子会長が留任、新副会長に長南勇氏が就任。新会計に小栗淑子副会長が転任。酒井哲郎副会長、一色雅男会計(ともに留任)ともども執行部として重責を担うことになった。また、常設部会長(広報委員長、交流部会長、研修部会長)の3名は、すべて新任者が担当することになった。

とどこおりなく総会は閉会し、午後4時から同じ会場で総会出席者による懇親会が開かれた。ジュースとお茶、菓子と果物、サンドイッチという軽食で和やかな雰囲気。一方で、粘り強くKIFA活動を続けていく会員のボランティア精神の熱気も会場には感じられた。

2004年度 KIFA
法人会員・団体会員のご紹介

(敬称略・50音順)

【法人会員】

(株) アメリカン・ランゲージスクール鎌ヶ谷校
岡田産業(有) 鎌ヶ谷造園土木(株)
鎌ヶ谷梨ワイン・プランダー(株)
学校法人一色学園
茂野製麺(株) 新和設備(株)
(株) 千葉銀行鎌ヶ谷支店 東葛食品(株)
(株) 永井建設 那須設計工務(株)
(有) 仁平・仁陣 (株) 美光化学研究所
皆川不動産(有)

【団体会員】

鎌ヶ谷市商工会 鎌ヶ谷市小中学校長会
鎌ヶ谷市自治会連合協議会
鎌ヶ谷市スカウト連絡協議会 鎌ヶ谷青年会議所
鎌ヶ谷市庭園業組合 鎌ヶ谷市体育協会
鎌ヶ谷ライオンズクラブ
鎌ヶ谷ロータリークラブ
県立鎌ヶ谷西高等学校

KIFA2004年度事業計画

2004年度の協会事業は、以下の事業を行う。

1. 在住外国人との交流

- ・お花見&バーベキューパーティ
- ・バスツアー
- ・KIFAパーティ
- ・家庭料理教室
- ・青少年交流事業

2. 語学研修講座の開催

- ・外国語講座（英会話等） 4 講座
- ・フレンドリー英会話 1 講座
- ・開講式・閉講式
- ・日本語講座 1 講座
- ・日本語ボランティア研修会
- ・子ども英会話 1 講座
- ・特別学習会
- ・近隣市町日本語ボランティアネットワーク
- ・外国文化に親しむ会

3. 講演会・イベントの開催

4. 会報の発行

- ・KIFA Plaza 年2回発行（7月・3月）
- ・KIFA Plaza かわら版 年2回発行（9月・12月）

5. KIFAホームページ事業

6. 海外交流事業

姉妹都市との交流（青少年ロングステイ派遣等）

7. ホームステイ・ホームビジットの受け入れ（随時）

8. 通訳ボランティア活動の促進

- ・研修会
- ・要望により通訳・翻訳をする

9. 外国人ボランティア講師派遣事業

10. 市民夏まつり事業参加

11. 東葛地区国際交流協会連絡協議会及び他市との交流

12. 留学基金設立

広報委員会事業計画

- ・年2回の会報発行『KIFA Plaza』を発行
規格：A4 8ページ 3,500部
KIFA Plaza 50号（7月）、51号（'05年3月）
- ・KIFA Plaza かわら版（9月、12月）発行 600部
- ・ホームページ事業

交流部会事業計画

- ・お花見&バーベキューパーティ
- ・バスツアー
- ・料理講習会
- ・青少年交流事業

研修部会事業計画

- ・語学研修講座
 - * 英語会話（初級）：通年開催2講座（各30回）
 - * スペイン語会話（初級）：通年開催1講座（30回）
 - * 中国語会話（初級）：通年開催1講座（30回）
 - * フレンドリー英会話（15回）
（語学講座は開講式・閉講式を含む）
 - * 子ども英会話 2クラス（各5回）
 - * 日本語講座（日本語ボランティア）
：通年開催（40回）

日本語ボランティア研修会

近隣市町日本語ボランティアネットワーク

特別学習会

- ・イベント（京劇鑑賞会）

- ・外国文化に親しむ会

留学基金 留学生受け入れ事業を促進する目的で設立

国際交流

青少年ハイキング

養老溪谷で楽しい一日

6月27日（日）、国際交流青少年ハイキングが行われました。梅雨の時期でもあり、天気が心配されたのですが、雨に降られることもなく、かえって曇り空で涼しく、絶好のハイキング日和となりました。

今回訪れた養老溪谷は房総半島を横断する養老川の上流にあり、栗又の滝は房総一の名瀑として有名です。参加総数は26名、うち外国人は7カ国、11名でした。

私たちは栗又の滝周辺の遊歩道を歩きながら、新緑の豊かな溪谷美を楽しみました。最初は初対面の人ばかりだったので緊張していましたが、次第に打ちとけて話すようになり、楽しい一日をすごしました。（徳田正子）



京劇へのいざないⅡ

6月20日(日)、中央公民館視聴覚ホールにおいて、昨年6月22日開催の京劇講演会に続く京劇鑑賞会『京劇へのいざないⅡ』が開催された。

今回は、ふだんは覗けない楽屋裏から、舞台狭しと躍動する立ち回りまで、二部構成で実施された。主役は日本で唯一の京劇団の代表・張紹成氏、そのほか2名の劇団員が参加した。

当日はKIFAの旗がはためく中、開場前から100人を超える方々が長蛇の列を作るほどの盛況であった。

第一部 京劇俳優の顔作り、着付け

観客に見やすいように小さな手鏡を使用して、張さんは次第に変身していく。「では早速"楽屋"に行きましょう」と、軽快な語り口を挟みながら、舞台上で化粧をはじめ。まずは髪の毛を整え、顔を肌色で厚く塗る。「シワの多いところには多めに塗ります」。さらに頬を赤く塗り、つぎは目。「目のまわりを赤く塗るのは、元気や若さを表現するためです」。

それからは眉毛、「みなさんは、こんなにたくさんの人たちに監視されて化粧することはないでしょう」など



真剣な演技 ユーモラスな表情

と時折り軽口をいれて、観客を笑わせる。下塗りが終わると、頬の化粧を落とす。「きれいに落とさないと、カビがはえますから」。目尻を太く吊り上げるように描くのが特徴である。これを魔よけという。口紅を慎重に塗り上げて終わる。これは「男も色気が必要なため」。

つぎは着付け。劇団員の力を借りて、4枚



50号発行記念特集

KIFA Plaza で見ると

創刊号 『KIFA発足180日の歩み』4/18KIFA設立総会、会長・佐々木武二郎氏。5/15会員募集スタート、7/23発足記念講演会開催、9/3語学研修講座開講(英語会話3講座、中国語会話2講座)、10/14現在・会員数375名

第2号 『KIFA A YEAR-END PARTY』市内在住外国人・留学生など38人の外国人を交えたパーティ

第3号 『KIFA初のホームステイ受け入れ』米国オレゴン州・フロリダ州より高校生16名が6月来日。その歓迎ぶりを大きく紹介。『Internationalで行こう』国際感覚を豊かにしたい会員へ経験者からのメッセージ(第9号まで掲載)

第4号 『ホームステイから帰りました』夏休みに米国カリフォルニア州ギルロイ市でホームステイと語学研修をした市内高校生、大学生など8人の写真レポート

第5号 『広い会場に育つ世界への心 第2回KIFAパーティー』

第6号 『さすが流ちょうな英語・中国語の謝辞 1989年語学研修講座合同閉講式』。新連載『SAY,"young"』1回目は「カルチャーショック」のタイトルで海外での食べ物やトイレの話

第7号 『見て!聞いて!体験して! レイクポートだより』海外派遣事業として米国レイクポート市でホームステイと語学研修をした8人のレポート。『SAY.....』では学生会員(総数459名のうち学生は85名)アンケート集計結果報告。『姉妹都市の調査始まる』7月21日、KIFA姉妹都市調査プロジェクトチーム(15名)発足、第1回会議

第8号 『国際交流、わが家のこの1枚』写真特集

第9号 『コンニチハ また会いましたね 第3回KIFAパーティー』

第10号 『新しい風』(~17号まで連載)派遣部会、交流部会、研修部会の近況報告と91年度の活動内容紹介。『語学講座合同開講式』『帰国子女紹介』

もの下衣装をつけ紐でしっかりしぼる。「正直な話、きついです」と、おっしゃる。そして手刺繍の着物をはおり、さらにヒタイをきつくしぼる。目や眉がつり上がり京劇俳優特有の表情になる。これで完了だ。

「小さい頃は、これに慣れないので御飯を吐き出してしまうほど、痛かった」というのも、うなずけるお話である。



第二部 京劇実演

『三岔口 (さんちゃこう)』

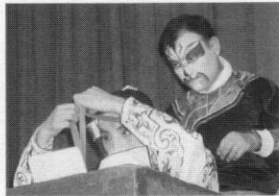
「冤罪をさせられ流刑囚となった三関軍の将軍が泊まる旅籠に、将軍を守るべく密命を帯びた任堂恵（張紹成）がやってくる。怪しいと睨んだ旅籠の主人・劉利華と任堂恵との間で、深夜、暗闇の中で大立ち回りがはじまる」（あらすじ）

小柄な劉の軽やかな身のこなしは実に見事なもの。そのメイクもまた何と表情豊かなことか。暗がりイメージしながら、実は明るい舞台上で演じられる立ち回りは真剣そのものだ。ひとつ間違えば、相手役を傷つけてしまう。真剣な演技の中でユーモラスな動きと表情、その絶妙なコンビネーションは素晴らしい。そして将軍も加わって

の三つ巴の立ち回り。最後は誤解がとけてお互いが好朋友（親友）であることが分かり、めでたく大団円。

実演後、張さんの流暢な日本語挨拶に対し、観客の心からの暖かい拍手と笑顔が印象的であった。

円内の写真は、任堂恵（上）と劉利華（下）の大立ち回り



国際交流のあゆみ

『KIFA Plaza』は、本号をもって50号を迎えました。創刊号から16年後の今日までを紙上で回顧し、KIFAの足跡と業績を3回にわたり連載します。KIFAの未来へのさらなる飛躍を願いつつ、お読みください。（以下、文中の「」内は、その号のタイトルそのものです）

第11号 1991/10/1	『潮風の街 シドニーへ』オーストラリアのシドニー市でのホームステイと語学研修の写真リポートと3人の体験感想文を5頁で	第17号 1993/3/19	『第5回KIFAパーティー』イラン人、ブラジル、ペルー国籍の小学生投稿記事
第12号 1991/12/6	『新しい風』「国際化とは？ 子どもの声」のテーマに、7人の少年少女が海外生活や国際交流参加体験を寄稿	第18号 1993/7/20	『鎌ヶ谷青年会議所、KIFA後援“国際交流への第一歩”』が6月6日開催される 『部会紹介①研修部会』
第13号 1992/3/10	『完成間もない総合福祉保健センターでより華やかに行われた第4回KIFAパーティー』（91/11/23・出席者数155名・うち外国人は13カ国33名）	第19号 1993/10/25	『世界をあなたの家庭へ ホームステイ受け入れ』、『緑の風…海を越えて』青少年海外派遣事業でニュージーランドのワカタネ市と交流・親善に参加した高校生、大学生8人の体験感想文を6頁掲載 『部会紹介②派遣部会』
第14号 1992/6/29	『日本の“国際化”を願いつ……』特別寄稿・ステイーヴ・バーグ（鎌ヶ谷市職員【嘱託】外国語指導助手、KIFA語学研修講座講師）	第20号 1994/3/10	『姉妹都市提携候補地ワカタネ市（ニュージーランド）に決定』（ワカタネの位置、概要紹介） 『わたしたち日本語の勉強に励んでいます・日本語講座風景』 『部会紹介③交流部会④広報部会』
第15号 1992/10/16	『白く長い雲のたなびく国』ニュージーランドのタウランガ市でのホームステイ、語学研修の写真リポートと5人の体験感想文など6頁掲載	※号の下の数字は発行年月日です。 （以下次号につづく）	
第16号 1992/12/21	『（北部）小学校に外国人（ステイーヴ・バーグ先生）による英語授業』、『4部会合同交流会』		



語学講座の開講式

5月16日(日)、市総合福祉保健センター6階の大会議室において、2004年度の語学研修講座合同開講式が行われた。今年も語学講座の人気は高く、定員を上回る応募者が殺到したため、一部の講座では抽選で受講者を選定せざるを得ない状況となった。開講の講座は昨年と同じく英語2講座、スペイン語、中国語、それに対象者を60歳以上に限定したフレンドリー英会話など5講座である。

開講にあたり、波多野勝夫研修部会長から「去年は、最後まで出席された皆勤賞の方々がたくさんおられた。最初は戸惑っても、続けていけば語学は必ず上手になるし、海外旅行にも楽しみが増える。年度末の閉講式には、皆さんの学習の成果による歌や踊り、寸劇などの楽しい出し物を期待している」との激励があった。

その後、グループごとに初日の授業を行った。KIFAの講座ではネイティブの講師が基本であるが、フレンドリー英会話のみは増田千佳さんが担当されている。開講式で、増田先生は受講生に対して外国語授業における講師の気持ち、すなわち受講生の心構えを話された。それは私たち、普通の日本人が共有するところをズバリと指摘するものだった。

「講師として教えているときに何が悲しいかといえば、生徒の方々が先生の話に無反応であったり無表情であることです。どうか外国語の授業中には、自分の人格を変えてでも表情を豊かに、そして反応もすばやくお願いします」と。

日本人は一般的に控え目かつシャイである。表情豊かに、そして身体全体を使って、という増田先生の言葉は、受講生の身にも染みるものであった。外国語を学ぶには、ある意味で日本人であることを忘れ、かの国の人たちになったつもりも必要かも知れない。間違ってもよい。大きな声と共に、オーバーなジェスチャーもまた学習に役立つに違いない。



増田千佳 先生

英語 A

ライアン・マッキノン 先生



カナダ人、23歳。なんと193センチの長身。昨年5月に来日。『アメリカン・ランゲージスクール』からの派遣。

趣味は食べることと、寝ること。カップヌードルが大好き。それに剣道とは、いかにも日本びいきの若者らしい。弟が2人いる。

日本では札幌、大阪、岐阜、京都などを旅行した。東京にもよく行く。八千代市在住。

英語 B

ジャネット平野 先生



アメリカ・ユタ州の出身。ご主人は日本人、子ども2人と孫が8人いる。現在ご主人と2人で市内に住んでいる。在日は20年以上。

日本語はレッスン中はあまり話さない。特技は2、3回会うと受講生の名前はすべて覚えてしまうこと。小・中学校の生徒に教えるように「教え方は丁寧に」がモットー。とにかくまじめ。「英語の上達は、休まずに続けること」を受講生に望んでいる。

スペイン語

ラウラ・山田さんはコロンビア・カルダス地方のマニサレス市の生まれ。日本にきて24年。日本人のご主人との間に息子が3人いる。長男は社会人、次男は米国の大学生、三男は受験勉強中。



ラウラ・山田 先生

マニサレスはスペインの影響を受け、風俗、習慣などもよく似ている。教会が多く、闘牛も年中行事。趣味は情熱的なスペイン舞踊。彼女はパトリシア・岡田さんの帰国中、スペイン語クラスの代講を行う。



パトリシア・岡田先生

そのパトリシアさんは「秋になったら楽しいおみやげ話を持参して、講義に復帰します」とメッセージ。

中国語

許艶 先生



上海出身。税務関係が専門。来日9年目。日本語検定一級を取得。

今回のように多人数の生徒に教えるのは初めて。

「日本人は勤勉な国民、私も緊張しながらも楽しくわかりやすく教えたい」

語学は毎日使わないと上達しないので「習うよりも慣れよ」(中国語で「熟能生巧」と、おっしゃる。すぐに使える会話、また現在進行中の中国の出来事や日中の文化の違い、なども紹介していきたいと意気込む。



語学講座を担当される先生方

「2004年語学講座の講師は私たちです」

協会の役割は場づくり・仕組みづくり・ネットワークづくり

武蔵野異文化国際交流講演会に参加して
「多文化共生と国際交流協会」(講演要旨)

これは2月25日、柏市京北ホールにおける武蔵野市国際交流協会の杉澤経子氏による講演の要旨である。

1. 自治体の国際化施策

多くの自治体が国際交流協会を設置し、国際化に対処するためのさまざまな施策を実施しているが、異なった文化が共生していく上で3つの壁がある。

① 言葉の壁 ② 制度の壁(就職、結婚、教育、医療など) ③ 意識の壁(こころ)である。この中で②の壁は行政のレベルでなければ打破できない。われわれ市民レベルでは「アクセスしやすいところから」「行政では無理と思われるところから」取りかかるべきである。

2. 武蔵野市国際交流協会の事例から

A) 外国籍住民に対する施策としての事業

言葉や習慣、制度、文化の違いから起こる事象に対処しようとするもので、ホームステイ・ビジット、日本語の学習支援、法律・医療の相談などである。ここで重要なことは、施策の中に外国人の声がどれだけ反映されているか、外国および外国人に対する日本人特有の意識がないか、ということである。

B) 市民意識の啓発事業

国際化に対する市民の意識を高めようとするもので、国際交流まつり、外国人等講師の学校への派遣、日本語

交流員養成講座などである。

ここでは将来、たとえば10年先を見据えて何をするのか、という視点が大切である。

C) 市民主体の交流協力事業

市民の自主企画運営によるプロジェクト活動、語学ボランティア(通訳・翻訳など)、インターネット活動等である。

市民の中には必ず“やりたいこと”を持っている人がいるはずである。面白い企画を打ち出すには「誰がやるか」が重要で、やりたい人にやってもらうことが一番である。活動の中から新しいニーズや課題を発見し、それを今後の活動に結びつけていく。発見が新しい活動の原点となる。

3. 協会の役割

協会は「コーディネーター」としての役割、より具体的には国際交流のための

- ・場づくり：情報共有の場と市民が活動できる場を提供する

- ・仕組みづくり：将来見通しに基づいた事業計画と市民が参加できる仕組みをつくる

- ・ネットワークづくり：人・機関・情報・事業をうまく結びつける役割を果たすべきである。

ここで重要なことは、情報は「人の言葉で」「活きた言葉で」伝えるということ、および一つの事業から「気づき」によって次の事業へ発展させるということである。

(長南 勇)

KIFA会員の皆さまへ 部会加入のお誘い

KIFAの事業は、右欄の研修・交流の2部会と広報委員会が中心となり、すべてボランティアで企画・運営しています。

今後のKIFAの活動をより充実したものにしていくために、多くの会員の皆さまが部会などに加入されることを希望いたします。

KIFAでは随時、部会員として活躍していただける会員の皆さまを募っています。加入を希望される方は事務局にお申し出下さい。

連絡先：

KIFA事務局 TEL：047-445-1141 (内) 550
FAX：047-441-9400
電子メール：office@kifa.gr.jp
URL http://www.kifa.gr.jp

部会名	主な事業	活動日程
研修部会	語学研修講座の開催 講演会などの企画 日本語ボランティア	講座や講演会の企画と実施。定例会議は平日昼間が多い。日本語ボランティアは夜間。
交流部会	在住外国人との交流	定例会議は日曜日午前中。事業はほとんど土・日。
広報委員会	会報「KIFA Plaza」の発行 ホームページ作成	会議は平日昼間が多い。パソコンでの参加も可。

Notice

日本語ブラッシュアップ研修会

7月24日(土)
場所：中央公民館
時間：午後1時30分～

市民夏まつり参加

8月28日(土)
新鎌ヶ谷駅北口
ロータリー前広場
催し内容は検討中

バスツアー

9月26日(日)
場所：時間は未定
詳細は別途ご案内
します

外国文化に親しむ会

11月7日(日)
開演時間：定員は未定

We did it

外国人スピーチ発表会に参加して



3月14日(日)、第5回外国人スピーチ大会が行われた。

場所はJR柏駅近くの寺島文化会館。主催は柏市国際交流協会、柏市のほか鎌ヶ谷市、松戸市などからもスピーカーが参加した。

鎌ヶ谷からは大介君(台湾)、ヌワンさん(スリランカ)、ジェンマさん(フィリピン)が日頃の学習の成果を日本語で話した。鎌ヶ谷からの応援団は日本語ボランティアの遠藤(尚)さん、大森さん、遠藤(勝)さん、そして安達さんであった。

スピーカー3人とも十分な練習時間が取れなかったが、日本、日本の文化、日本での生活及び日本人が大好きな様子が聴衆を感激させた。また自分たちがふだん気がついていない日本人の習慣、行動をよく観察しているのに驚いた。来年も発表会の開催が決まっているので、今から楽しみにしている。

(日本語ボランティア：松岡昭男)

東葛地区国際交流協会連絡協議会の開催

5月19日、流山市役所会議室において、平成16年度第1回目の上記協議会が開催された。

会議には5市1町が参加し、当協会からは酒井、長年の両副会長が出席した。

本年度初の会合のため、まず新役員を選出。会長には昨年度に続き田中力氏(野田市国際交流協会)、副会長には沼南町の協会会長・荻野勝氏が選任された。

(その他の役員は紙面の都合上省略)

次いで昨年度の事業報告と本年度の事業計画の協議が行われた。事業計画としては、会議を年2回、情報交換会を1回開催すること、および「国際交流の集い」(11月14日千葉県主催、手賀の丘)に参加することが決定された。

お花見&バーベキューパーティを開催

4月4日(日)、貝柄山公園にてお花見&バーベキューパーティを開催。前日の快晴で初夏のような暖かさから一転、当日は朝から雲が低く垂れ込め今にも雨が降りそうな空模様でした。例年たくさんのお花見客でいっぱいの会場は、結局私たちだけの花見になりました。

それでも花見が始まると徐々に会員やその友人たちが参加し、3台のバーベキューコンロのまわりに食材を持ち寄り、暖をとりながらお国の話を日本語、英語、中国語などで歓談しました。合間に輪投げゲームや、ダンスなどがあり、最後に皆で『さくらさくら』と『花』を合唱しました。パーティの終了を見越していたかのように雨が降り始めました。寒い日でしたが楽しく過ごせた一日でした。

(高坂忠雄)



貝柄山公園で、在留外国人と交流を楽しむ会員と参加者の皆さん。



輪投げに興じる会員



上：家族と共に野外バーベキュー
左：バーベキューを楽しむ

編・集・後・記

前任の渡部恭子さんから、広報委員長へのバトンを受けてのスタートです。おもしろくて、何かしらお役に立てて、どこか心に残るような紙面作りを心がけます。皆さんの率直なご批判、ご意見をお寄せください。(K.H)